

平成30年度第3回東成区区政会議 保健福祉部会

1 開催日時 平成31年3月6日（水） 19時30分から20時25分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

**【委員】**

石塚 克哉（議長）、林 正則（副議長）、大谷 慶子、下村 直美、徳永 政喜、  
羽鹿 誠一、本間 良文、三枝 直美、森井 フミ子、米原 俊夫

**【東成区役所】**

西山 明子（保健福祉課長）、北野 紀子（児童・保健担当課長）、世古 美弥子（保  
健福祉課長代理）、辻 真司（保健福祉課担当係長）、細山 博文（保健福祉課担当係  
長）

4 委員に意見を求めた事項

平成31年度東成区運営方針（案）及び予算（案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

**【石塚議長】** 皆さん、こんばんは。石塚です。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

この部会は、地域福祉と健康づくりの充実、推進に関わって、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっております。これから20時15分まで、55分ないんですね、40分ほどになるんですけども、初めの15分間は区役所からの説明です。その後、20時5分までは自由な意見交換の時間とします。20時5分から10分間で部会としての意見をまとめたいと思います。主にご覧いただく資料は3と4になります。

それでは、前回の区政会議での意見を踏まえて作成されました資料3、平成31年度東成区予算（案）と資料4、平成30年度区政会議における意見対応状況に沿って、区役所から簡潔にご説明をお願いします。

【西山課長】 東成区役所、保健福祉課長の西山です。よろしくお願いします。

資料3、東成区政会議資料の7ページをご覧ください。地域福祉と健康づくりの充実・推進、このうち、私のほうから地域福祉の充実についてご説明をさせていただきます。

平成31年度の主な取組みにつきましては、これまで実施をしてきた事業について継続的に実施するというのが基本になっております。1点目「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業についても、昨年度並みの予算を確保しまして、地域福祉活動サポーターの設置をはじめ、サポーターを中心に地域福祉活動の活性化であるとかを支援していきたいと思っております。

また、その他の事業におきまして、最初の事業について、地域福祉推進支援事業というのは、障がい者・高齢者支援に係る区民の皆様のご理解を深めていただくための啓発の取組みでございます。もう1つ、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業、これは区役所の予算というよりも、CM予算と書いておりますが、大阪市福祉局の事業を、区長がマネージャーということで実施をしている予算になっておりますが、これについても地域の見守り活動ということで、区役所のさまざまな取組み、例えばおまもりネットでの地域の身近な相談機能と、この見守りネットワークの事業を連携しながら、地域の見守り、支え合いを推進していけるように進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

次に、資料4のほうをご覧ください。これが昨年、30年12月に第2回の区政会議におきまして皆様からご意見をいただきました。その意見に対しての今の対応状況をご報告させていただきます。

保健福祉部会につきましては4から6までの項目が該当しておりまして、私のほうからは4、5を説明させていただきます。

まず、項目4につきましては、1ページ目の一番下の項目です。左の意見欄のところにありますように、さらなる地域活動の担い手不足が予測をされている中で、新たな担い手の発掘などを検討していくべきというご意見をいただきました。それに対しまして、右の欄が対応内容になっております。福祉人材の不足が推計される中で、住民同士が支え合う地域福祉活動の取組みが一層重要でありまして、東成区役所においても各地域で取り組まれている地域福祉活動の継続や広報活動を行うとともに、活動への男性の参加促進を図るなど、新たな担い手の発掘に取り組んでいきます。また、地域の担い手の発掘・育成等を行う大阪市の関連事業もございます、こういった事業とも連携を図って、既存の活動にも新

たな担い手が参画していただけるように取り組んでいきたいと考えております。

裏面、2ページにいきまして、項目の5をご覧ください。おまもり手帳について、加入促進も大事であります。家に置いておくだけではなく、使ってもらえるように手帳内容を更新していく必要があるというご意見をいただきました。それに対して右の欄をご覧ください。対応内容として、おまもりネット事業は地域の取組みではありますが、区役所としてもその活用や内容の更新が重要であると考えております。この間、区役所の会議や、東成区社会福祉協議会が中心となるワーキングにおきまして議論を重ねてきました。その中で、更新が進むように利用者と地域福祉活動サポーターが定期的に接点を持てる機会を増やすことができるような取組みを進めていくこととなっています。それにあたって、ふれあいパンジーやスーパー、郵便局などの身近な相談機会を捉えて、更新の勧奨も行っていきたいと考えております。引き続き関係者の皆様と事業の充実に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

私の説明は以上です。

【北野課長】 そうしましたら、引き続きまして児童保健担当課長の北野です。戻りますが、資料3、東成区政会議資料の関連予算案の8ページをご覧ください。

ライフステージに応じた健康づくり事業についてご説明させていただきます。31年度の予算としましては、ここにありますように33万7,000円を要求しておりまして、主なものとしまして、今、地域で週1回から2回開催していただいております「いきいき百歳体操」を継続していただくための支援として、今年度も作成したんですが、来年度も引き続き「百歳体操出席手帳」を作成しまして、継続して参加していただいている方に配布していきたいと考えております。

次の食育の推進ですが、小学校での食育講座の実施のための材料費として計上しております。

続きまして、健康づくり講演会の開催についてです。こちらにつきましては前回の12月にありました区政会議でご意見をいただきました、子どもや高齢者の孤食をテーマとしまして、「ライフスタイルの多様化と孤食」についてという講演会を開催してまいりたいと考えております。経費のほうにつきましては講師謝礼であったり、ポスター、チラシ代の経費になっております。また、ライフスタイルの孤食のテーマのときには、できましたら高齢者の食事サービスであったりとか、区内で実施しております子ども食堂のご紹介、また、すこやかパートナーさんの栄養の問題などを取り上げていきたいと考えております。

保護者の方への啓発とかが大事ではないかというご意見もたくさんいただいたところなんですけど、健康づくり講演会につきましては昼間の開催となりますことから、子ども食堂のご紹介はさせていただこうと思っているんですけども、主に高齢者の方の、ひとり暮らしの方の栄養問題であったり、孤食の問題というのを取り上げていきたいと考えております。

一番下にありますその他の事業のところの14万3,000円につきましては、区CM予算としまして、局のほうで介護予防の事業経費をとっておりまして、それを区のほうで使うということで、「いきいき百歳体操」の会場に対しまして、継続実施の支援として理学療法士によります派遣や、先ほど申し上げました百歳体操出席手帳とあわせて、参加者のモチベーションを維持するための取組みを進めてまいりたいと考えております。

私のほうからは以上になります。

【石塚議長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明を受けて、皆さんからご質問やご意見をいただき、ホワイトボードで意見を共有していきます。今からは、先ほど申し上げました勉強会で、自由に意見を交換していただく時間ですので、一旦、議事の記録は中断して始めてまいります。

#### <部会での自由な意見交換>

【石塚議長】 そうしたら、10分ほどでまとめに入りたいと思います。それではホワイトボードの板書内容をご覧ください、後ろに書いてくれています。出された意見のうち、部会からの意見として取り上げたいものについて決めたいと思います。これもまた、1人一言ずつ発言をお願いします。板書を見て、これを取り上げてくださということをおっしゃってください。よろしいですかね。

【米原委員】 これ、おまもり手帳はもう配られているんですか。配布してはりますの。

【西山課長】 申請というか、登録に来られた方に。

【石塚議長】 今、全員に配っているわけではないですよ。

【西山課長】 ないです。

【石塚議長】 おまもりカードだけの人もしゃいますよね。

【西山課長】 その方もいらっしゃいます。

【石塚議長】 どれを取り上げたらいいですかね。何か一つ、部会の意見としてこれは

取り上げて欲しいというのがあれば。

【米原委員】 さっきの百歳体操、もっと増やさなあきませんのやろ。男性が少ないんです。大体、男性は何かしてますね、で、弱っている、女性のほうが元気ですわ。

【石塚議長】 男性の参加を促したいということでもいいですか。

【米原委員】 はい。

【石塚議長】 そうしたら、下村委員お願いします。とりあえず、部会の意見としてこれは取り上げて欲しいというのがあれば。

【下村委員】 さっき先生がおっしゃったのかな、1人にならないというのがすごく、私は。

【石塚議長】 1人にならない。

【下村委員】 そう、つまり、つながるといことなんですけど、1人にさせないというか、それがすごく胸に。

【石塚議長】 さっき言ったピンポイントいうのも、この1つの解消方法かもわかりませんね。

【下村委員】 そうですかね。

【石塚議長】 ありがとうございます。

羽鹿委員。

【羽鹿委員】 それやったらもう、百歳体操でまとめてもろたほうが。

【石塚議長】 幾つか挙げても。

【羽鹿委員】 幾つか挙げますか。

【石塚議長】 複数でもいいんです。一番多く出たのは百歳体操、それも男性の参加というのが一番多く意見が出ましたよね。それでいいですか、百歳体操で。

【羽鹿委員】 まあまあ、男性の確保いうんですか、将棋や知り合いの方、これをどないするかですね、それに関連づけて。

【石塚議長】 ありがとうございます。

そうしたら、森井委員。

【森井委員】 やはり、介護予防とか孤食とか、食べること、ここら辺で私も、介護予防が大切、1人にならないということで、このところをお願いします。

【石塚議長】 介護予防が大切、1人にならない、ありがとうございます。

そうしたら、三枝委員。

【三枝委員】 男性のしたいこと、やはり自分にメリットのあることが一番参加のきっかけになると思うんです。男性のしたいことや知り合いの存在がきっかけになるのかなというあたりを取り上げていただけたら。

【石塚議長】 ありがとうございます。

そうしたら、本間委員。

【本間委員】 さっき言わしてもろた男性の担い手ですね、参加、一番上のほうですかね。それと下から2番目と、1つの流れですわ。1行目の「男性参加は担い手の確保がキ一」であると。下も、担い手が。

【石塚議長】 下から2番目。

【本間委員】 うん、そこらもつながっていくんですけどね。

【石塚議長】 それと、下から2行目ですね。

【本間委員】 結局これを見ていたら、1つの問題は、どんな形、担い手であろうが参加であろうが、男性が一番問題やなど、これね。

【石塚議長】 そうですね、今回はそれがテーマみたいですね。

【本間委員】 やっぱり、男性いうのは自分も含めてなかなか、みんなの中へ入って一緒にするのが、入ってしまえばやるんでしょうけど、今、石塚さんもおられますけども、ああいう施設でもそうやと思うんです。女性はすぐにチーチーパー入れるんですけど、男っちゅうのはなかなか、中へ入ってチーチーパーができないんですよ、そういうのがやっぱり、男性と女性の大きな、もともとの違いといいますかね、性格的な。それが大きい違うのかなと思います。

【石塚議長】 ありがとうございます。

そうしたら、徳永委員。

【徳永委員】 私も男性の参加なんですけど、こういう会があるごとにその意見が皆出てくるんですよ。ただ、その解決方法が一向に見当たらない。

【羽鹿委員】 言うは易し。

【徳永委員】 そうなんですよ。私なんかもね、口が酸っぱくなるほど皆さんにお願いはしてるんです。ここのところへきてね、やっぱり1人で生活していらっしゃる男性の方、この方が重点的に参加していただくような形でもっていかないと、ちょっとこれから厳しくなるのかなという気がしていますね。

以上です。

【石塚議長】 ありがとうございます。

そうしたら、大谷委員。

【大谷委員】 やっぱり皆さんで誘い合わんとね、参加する人が。

【石塚議長】 誘い合う？

【大谷委員】 うん。誘い合って、いろいろ、うちなんかはそんなして出してますやんか、月1回ちゃんと。今月はこんなこと、何月何日にしますというようなこと。それを皆さんに承知してもらうような。

【石塚議長】 だから多分、チラシとか回覧版とかやけども、やはり直接働きかけるといのが効果的。

【大谷委員】 そう、働きかけるのがいいかなと思います。

【石塚議長】 同じことですよね、ピンポイントで。

【羽鹿委員】 やはり普段、地域との関わりがどうしても密じゃないから、寄せても全然ね、顔を合わせてもなかなか、普段会ってへんもんやから、急に寄ってきてもね。

【石塚議長】 林委員。

【林副議長】 おまもりネット手帳の、おまもり手帳の、ここにも書いていますけど、いわゆる内容更新ということに関して、区役所さんも大分、いろいろ苦勞していただいていると思うんですけど、まだまだ、全然進んでいないと思うんです。せっかく新規の方が増えてきているのに内容は更新していないというのが一番もったいないなと僕は思っていて、私のところに来てはる患者さんでも、おまもりネット手帳見たら、最初の氏名と年齢、生年月日を書いてあるだけの手帳というのはいっぱいあって、結局、あまり役立ってないというのが常日ごろ思うので、せっかくやっているのに、その辺の内容更新で、どんどんリニューアルして行って、薬の内容も変わるし、そういうようなところをもうちょっとアピールしていかないと、せっかく新規の方の登録が増えているにもかかわらず、ちょっともったいないなというイメージは常日ごろ思っています。

ですからそこは、僕も、まだまだ、私のほうからも患者さんには言おうと思っておりますけども、もうちょっと、行政のほうからも働きかけを強くしていただけたらなという、それは思っています。

【西山課長】 ありがとうございます。

【石塚議長】 ありがとうございます。

今、大体、おまもりネット手帳と、それから百歳体操で男性の参加者、それからそうい

